

令和8年度コーディネート科目シラバス

科目名	情報セキュリティの社会実装基礎
科目名 英語表記	Introduction to Practical Information Security for Society

科目番号	A-12	開設大学名	長崎県立大学シーボルト校
開講場所	オンライン(オンデマンド)	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	後期	曜日	――
		時限	――
開講時間	オンデマンド方式による開講	授業定員	30人
		履修年次	3年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	開講期間中、週1回講義(動画)が1件増えます。数回の課題(締切有)が設定されま す。	試験・評価方法	視聴状況・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
①	ガイダンス～授業の目的, 概要, 進め方, 評価方法を説明する。	上繁 義史 情報システム学部 教授
②	IPA10大脅威に見る情報セキュリティの現況	(同上)
③	情報倫理, 個人情報, プライバシ	(同上)
④	情報通信白書から見る市場動向	(同上)
⑤	インシデント発生時の経済的損失	(同上)
⑥	セキュリティリスクの組織的管理	(同上)
⑦	サプライチェーンのセキュリティの考え方	(同上)
⑧	情報セキュリティの人的要因	(同上)
⑨	システムズエンジニアリングとは	木下 修司 情報システム学部 准教授
⑩	システムライフサイクルプロセス	(同上)
⑪	システムの品質評価	(同上)
⑫	アジャイル開発とスクラム	(同上)
⑬	DevSecOpsとセキュリティ・バイ・デザイン	(同上)
⑭	総合信頼性(ディペンダビリティ)入門	(同上)
⑮	システムアシュアランスと合意形成	(同上)

連絡先	長崎県立大学シーボルト校学生支援課 TEL:095-813-5065 FAX:095-813-5222
-----	---

(科目内容)
 情報セキュリティについて、組織的な対策やシステム開発・運用の観点から、社会でどのように実装されるかを学習する。組織的なセキュリティ対策については、リスクマネジメント、心理学、経済学の観点から講義する。システム開発・運用については、開発のライフサイクルにセキュリティを組み込む考え方(セキュリティ・バイ・デザイン)や、信頼性工学などの観点から講義する。

学生の感想・
 教員のコメント等

	参 考 写 真 等
--	-----------